

今年のお文 五帖第三通

それ○在家の尼女房たらん身は●なにのよう
もなく 一心一向に○阿弥陀仏をふかくたの
みまいらせて●後生たすけたまえと もうさ
んひとをば●みなみな御たすけあるべしと
おもいとりて●さらにうたがいのこころゆ
めゆめあるべからず●これすなわち弥陀如
来の御ちかいの○他力本願とはもうすなり
●このうえには なお後生のたすからんこと
の●うれしさ ありがたさを おもわば●ただ
南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏と○となうべき
ものなり●あなかしこ あなかしこ。

●…呼吸置く 一字前を一字下げる
○…呼吸置く

お文（おふみ）…蓮如上人（一四一五～一四九九）がお念仏の教えをわかりやすくお
伝えくださるために私たち門徒にあててられたお手紙をお文とい
います。お西（本願寺派）では御文章（ごぶんしょう）といいます